

大阪府工業指数2024年6月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…91.9 前月比▲1.5% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、汎用・業務用機械工業など11業種が低下し、石油・石炭製品工業、輸送機械工業など3業種が上昇した。

品目別にみると、ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲4.5%と5か月連続の低下となった。

(2) 出荷指数…91.2 前月比▲1.6% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、電気・情報通信機械工業など9業種が低下し、石油・石炭製品工業、輸送機械工業など5業種が上昇した。

品目別にみると、ショベル系掘削機械、リチウムイオン蓄電池等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲9.0%と11か月連続の低下となった。

(3) 在庫指数…96.8 前月比0.7% 8か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業など9業種が上昇し、化学工業、汎用・業務用機械工業など4業種が低下した。

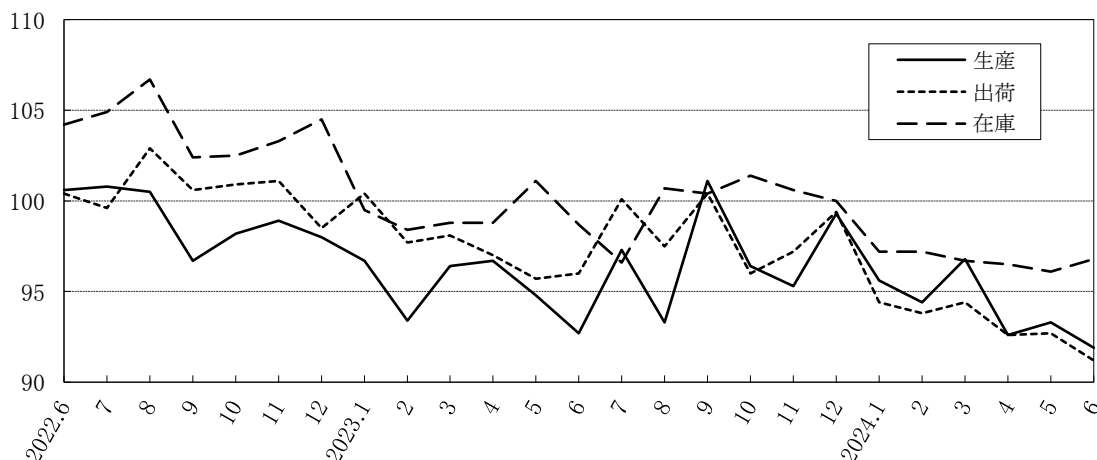
品目別にみると、装輪式トラクタ、柔軟仕上げ剤等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲2.0%と13か月連続の低下となった。

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前 月 比 (%)		前年同月比(%)
生 産	2024年5月	93.3	0.8	89.6	▲0.8
	2024年6月	91.9	▲1.5	90.5	▲4.5
出 荷	2024年5月	92.7	0.1	89.2	▲2.0
	2024年6月	91.2	▲1.6	89.0	▲9.0
在 庫	2024年5月	96.1	▲0.4	98.7	▲5.0
	2024年6月	96.8	0.7	99.9	▲2.0

生産・出荷・在庫の推移

数値は季節調整済指数



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 ▲ 1.5% 上昇 3 業種
 低下 11 業種
 横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	石油・石炭製品工業	1.218	19.8	ガソリン、軽油
	輸送機械工業	0.209	3.0	鉄道車両部品、シャシー・車体部品
	食料品工業	0.097	1.0	チョコレート、食用油脂
	その他の上昇した品目			産業用ロボット【生産用機械工業】、医薬品【化学工業】
低下	生産用機械工業	▲ 2.283	▲ 17.1	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.399	▲ 4.4	軸受、ポンプ
	化学工業	▲ 0.305	▲ 2.3	合成アセトン、ポリプロピレン
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.255	▲ 2.2	普通鋼小形棒鋼、メーカー向け銅裸線
	金属製品工業	▲ 0.235	▲ 2.8	橋りょう、作業工具
	その他工業	▲ 0.183	▲ 2.7	平版印刷(オフセット印刷)、染色整理(綿・合成繊維織物・ニット生地)
	電気・情報通信機械工業	▲ 0.176	▲ 2.4	電気炉、プロジェクト
	窯業・土石製品工業	▲ 0.151	▲ 6.6	無アルカリガラス基板、生コンクリート
	プラスチック製品工業	▲ 0.136	▲ 4.0	プラスチック製機械器具部品、発泡プラスチック製品
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.040	▲ 3.6	アクティブ型液晶パネル
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.016	▲ 0.9	段ボールシート
その他の低下した品目			化学機械【生産用機械工業】、金属工作専用機【生産用機械工業】	

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	ガソリン	石油・石炭製品工業
	2	鉄道車両部品	輸送機械工業
	3	産業用ロボット	生産用機械工業
	4	軽油	石油・石炭製品工業
	5	医薬品	化学工業
	6	化粧品	化学工業
	7	柔軟仕上げ剤	化学工業
	8	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	9	チョコレート	食料品工業
	10	精製・混合原料油	石油・石炭製品工業
低下	1	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	2	装輪式トラクタ	生産用機械工業
	3	化学機械	生産用機械工業
	4	軸受	汎用・業務用機械工業
	5	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	6	合成アセトン	化学工業
	7	ポリプロピレン	化学工業
	8	金属工作専用機	生産用機械工業
	9	ウイスキー	食料品工業
	10	橋りょう	金属製品工業

(2) 出荷

前月比

▲ 1.6%

上昇 5 業種

低下 9 業種

横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	石油・石炭製品工業	1.485	17.0	ガソリン、軽油
	輸送機械工業	0.390	5.8	鉄道車両部品、シャシー・車体部品
	化学工業	0.321	2.9	医薬品、化粧品
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.162	1.2	特殊鋼冷間仕上鋼材、メーカー向け銅裸線
	電子部品・デバイス工業	0.006	1.7	固定コンデンサ
	その他の上昇した品目			精製・混合原料油【石油・石炭製品工業】、産業用ロボット【生産用機械工業】
低下	生産用機械工業	▲ 1.971	▲ 18.6	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	電気・情報通信機械工業	▲ 1.060	▲ 14.5	リチウムイオン蓄電池、電気炉
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.565	▲ 6.1	軸受、ポンプ
	金属製品工業	▲ 0.510	▲ 5.6	橋りょう、金属製管継手
	食料品工業	▲ 0.359	▲ 3.4	ウイスキー、冷凍調理食品
	その他工業	▲ 0.301	▲ 4.9	ガラス製魔法瓶、システムキッチン
	窯業・土石製品工業	▲ 0.203	▲ 10.8	無アルカリガラス基板、生コンクリート
	プラスチック製品工業	▲ 0.103	▲ 2.3	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製パイプ
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.068	▲ 4.0	衛生用紙
	その他の低下した品目			超硬工具【生産用機械工業】、化学機械【生産用機械工業】

注：業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3) 在庫

前月比

0.7%

上昇 9 業種

低下 4 業種

横ばい 0 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	生産用機械工業	0.951	11.3	装輪式トラクタ
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.453	1.8	鋼半製品、鉄鋼切断品
	食料品工業	0.440	9.1	チョコレート、食用油脂
	石油・石炭製品工業	0.366	10.6	灯油、重油
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.065	6.5	段ボール原紙
	プラスチック製品工業	0.040	0.9	プラスチック製パイプ、プラスチック製機械器具部品
	窯業・土石製品工業	0.032	3.0	無アルカリガラス基板、ファインセラミックス(構造材)
	金属製品工業	0.029	0.3	飲料用アルミニウム缶、ワイヤロープ
	その他工業	0.027	0.5	マーキングペン、工業用ゴム製品
	その他の上昇した品目			柔軟仕上げ剤【化学工業】、ふっ素樹脂【化学工業】
低下	化学工業	▲ 1.245	▲ 8.3	ビスフェノールA、フェノール
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.084	▲ 1.0	分析機器、軸受
	電気・情報通信機械工業	▲ 0.058	▲ 0.5	電気マッサージ器具、セパレート形エアコン(室外)
	輸送機械工業	▲ 0.033	▲ 6.4	電動アシスト自転車
	その他の低下した品目			金属工作専用機【生産用機械工業】、ポリビニルアルコール【化学工業】

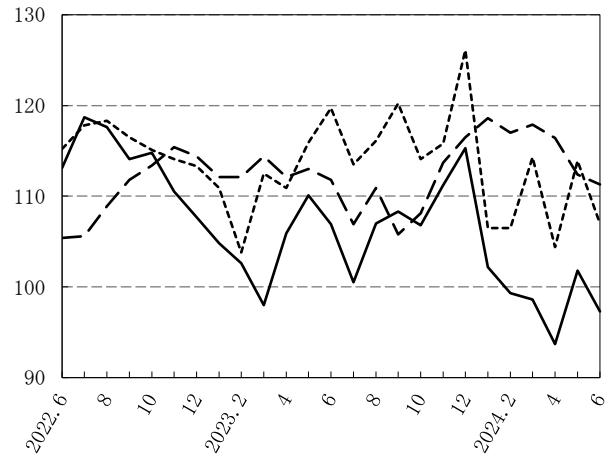
注：業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移

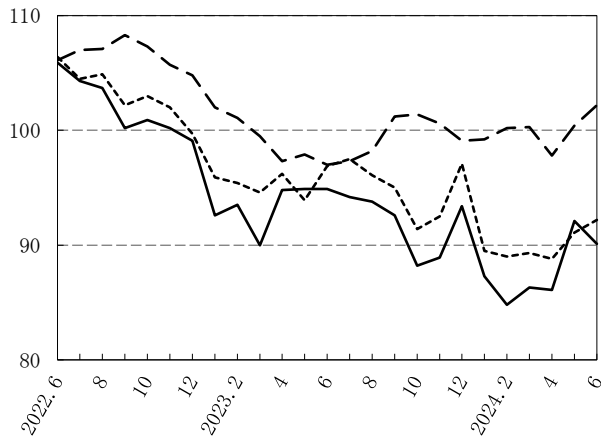
数値は季節調整済指数
2020年=100

生産 ————
出荷
在庫 - - - - -

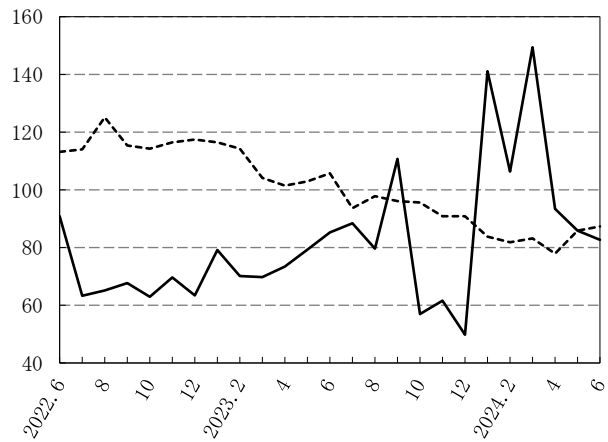
汎用・業務用機械工業



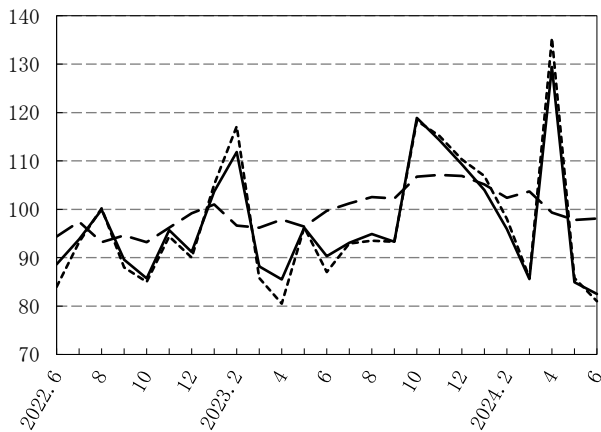
鉄鋼・非鉄金属工業



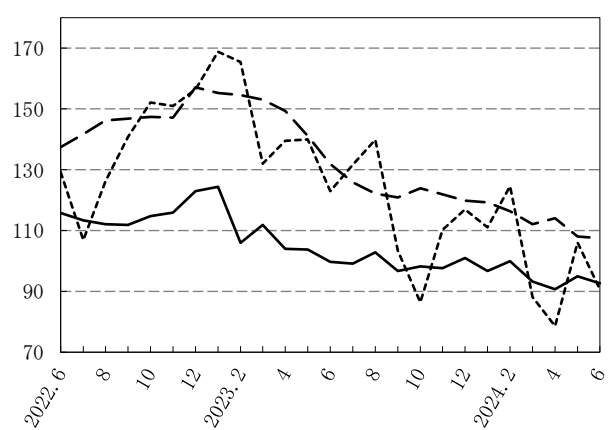
電子部品・デバイス工業



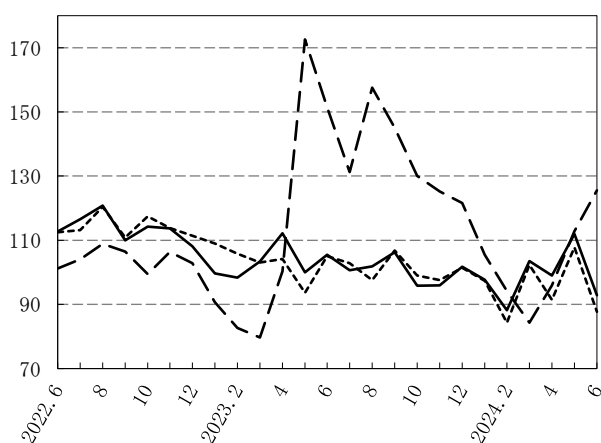
金属製品工業



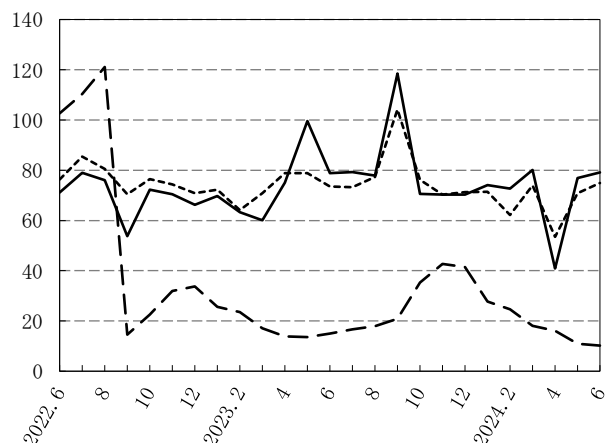
電気・情報通信機械工業

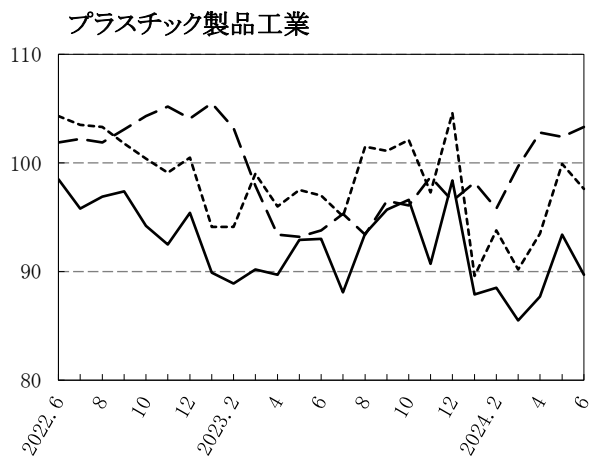
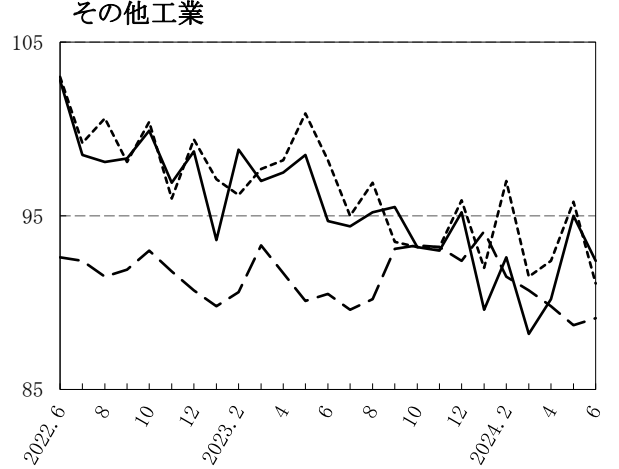
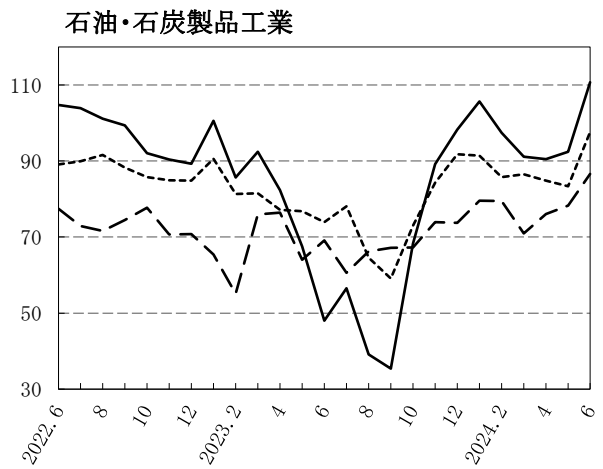
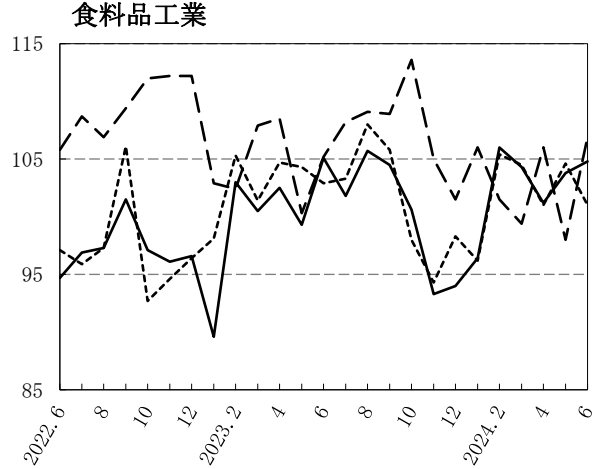
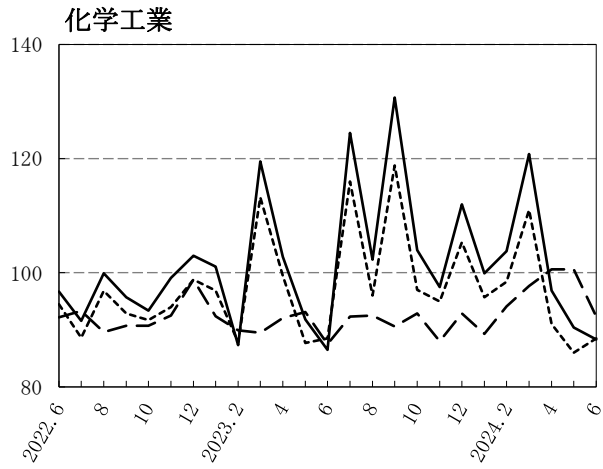
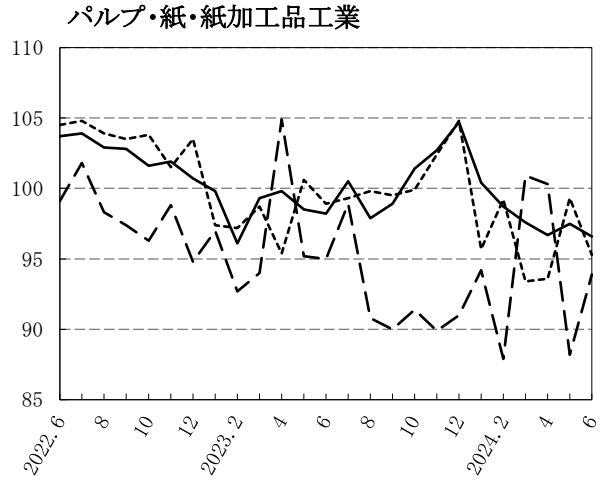
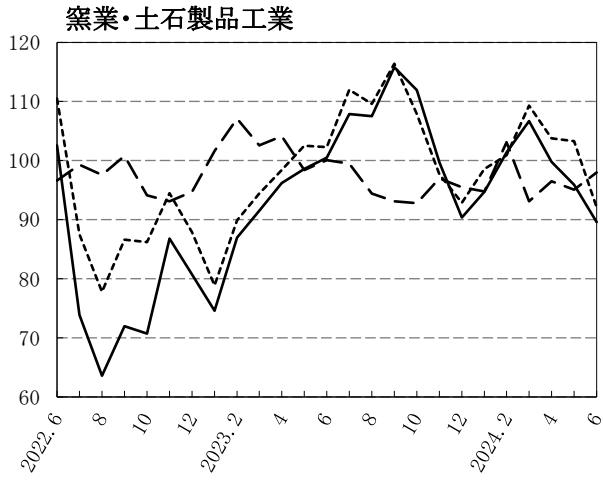


生産用機械工業



輸送機械工業





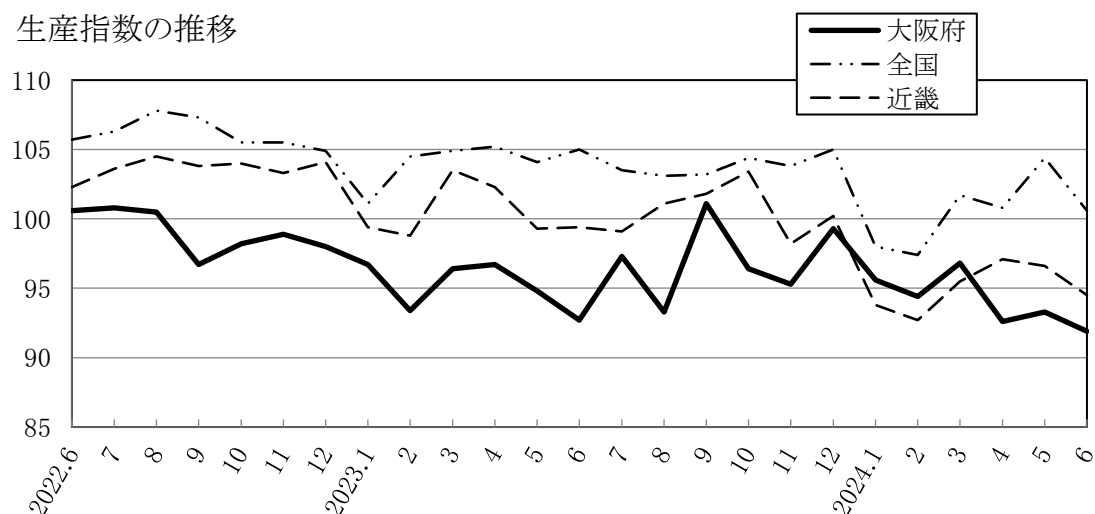
4 全国・近畿の状況(速報)

2020年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	91.9	▲1.5	100.6	▲3.6	94.5	▲2.2
出荷	91.2	▲1.6	99.4	▲4.3	92.3	▲4.5
在庫	96.8	0.7	102.7	▲0.6	106.7	1.9

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2020年(令和2年)です。

2020年(令和2年)基準の指数値は、2024年1月速報(2024年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」……負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

寄与度については、計算の過程で季節調整等の要素による誤差が発生するため、寄与度の合計値は製造工業全体の増減値と一致しない場合があります。

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2022年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2023年7月速報(2023年9月29日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2023年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/o040090/toukei/iip/index.html>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL: 06(6210)9195(直通)